

5月23日（月）

運動会という、大きな行事の前だからこそ、大切な話を2つします。

1つは、「交通安全」です。

今日、校長先生が、街角に立っていたところに出会った人？（大勢手を挙げる）

きちんと挨拶をして礼儀正しく登校した人もたくさんいましたが、中には、危ない場面もありました。

「予定に遅れそうだから急がなくては。」

「道の向こう側にいる友達に追いつきたい。」

という気持ちで、青信号が点滅していたり、車が曲がってきたりしているのに、大急ぎで横断歩道を渡った人も一人や二人ではありません。

楽しみにしていることがあったり、いつもとちがう予定があったりするときこそ、気持ちをぎゅっと引き締めて、全員ですばらしい運動会ができるようにしましょう。

また、校長先生は、今度は変装を試してみなさんにわからないようにして立っているかもしれません。もちろん、誰も見ていなくても気をつけなければなりません。

話をした翌日の朝、玄関で出迎えていたら、何人もの子供に「校長先生、今日、せっかく気をつけてちゃんと道を渡ったのにいてくれなかった！」と言われました。

もう1つは、約束をしていた「忘れ物」です。

みなさんに、「忘れ物をしないためのアイデア」をたくさんポストに入れてもらいました。

本当にありがとうございました。

ところが。

「こうすれば、絶対に誰もが忘れ物をしない」という、ものすごい方法はなかったのです。

忘れ物には、いろいろな種類や、一人一人の都合があって、薬や注射で病気を治すようなわけにはいかないのだと、みなさんも気づいたことでしょう。

しかし、みなさんのアイデアの中から、「こうすれば、忘れ物をへらすことができる」というキーワード（大切な言葉）が見つかったので紹介します。

すぐに （思い出したらすぐかばんに入れる）

なんども （夜じゅんびして、朝もう一度かくにんする）

いっしょに （もし家の人がいたら、いっしょにかくにんしてもらおう）

書く （持ち物を連絡帳に書く）

見る （書いたら見なくては意味がない）

有名な料理人も、腕の立つお医者さんも、道具がなくては、よい仕事できません。

みなさんも、そして先生たちも同じです。

もうすぐ運動会。

忘れ物で心配な気持ちになるようなことがないように声をかけ合ってしっかり準備をして、最高の本番にしましょう。